

第95回神教組定期大会方針決定！

～平和憲法を守り、「教え子を再び戦場に送るな」をあらためて誓う!!～



6月9日(土)、神奈川県教育会館にて神教組第95回定期大会が行われました。今年度から、横浜市、川崎市、相模原市の三政令市を除いた、5地区教組(湘南、三浦、湘北、中、西湘)が集まっての開催となりました。

湘南教組は、「通級指導教室の設置拡大」「新人事給与システムのトラブル」「事務職員の6級5級の課題」「教員免許更新講習の課題」「今期の賃金確定闘争」「多様な価値観、多様な評価」「社会的対話、PTAとの連携」について質問や意見を述べました。



総括討論では、鬼塚書記長が「私にとって現場の声を直接聞く方法の一つが書記局にかかってくる電話です。休暇制度について、学校での悩みや困り等、様々な内容になりますが、思いを聞いて課題を共有できる機会となっています。組合員に寄り添い『困っている人を助ける』という、組合の必要性が実感できる湘南教組であり続けたいと考えています。」や「私たちの不滅のスローガン『憲法の改悪反対 教え子をふたたび戦場におくるな』のもと、湘南教組は国会前行動に積極的に参加し、声を上げ続けてきました。今の状況を変えるためには、世論を喚起し、一人でも多く『このままではいけない。今の政権は、おかしい』と気付かせ、変えていくしかありません。」と、湘南教組のとりくみを強く訴えることができました。

第296回湘南中央委員会

湘南教組は、7月6日(金)、「第296回湘南中央委員会」を開催しました。

佐藤執行委員長は冒頭のあいさつで、全国で600人を越える教職員が定数を満たしていないという新聞報道にふれ、「教員になりたいという人を増やすためには、学校現場が魅力ある場所であればならず、私たちの賃金や待遇が改善されていく必要がある。そのためには、国段階での教育予算の拡充が不可欠であり、世論の後押しや政治の力が重要である。」と話をしました。

来賓のあいさつでは、藤沢市議会議員の竹村雅夫さんが「働き方改革の課題として、『介護離職者』や『ヤングケアラー』があること。中学校道徳教科書の問題の一つとして、『家族が介護をすることを美德とする教材』が載っていること。」と、熱く語られました。また、鎌倉市議会議員の竹田ゆかりさんは、「働き方改革は首長と教育委員会が一体となり、とりくまなければならない喫緊の課題であり、鎌倉市が小学校の外国語のためにつけた市費講師がT2となつては働き方改革にはならない。専科教員としての配置とさらなる増員が必要。労働安全衛生体制の整備も早急にすすめていく必要がある。教育委員会が予算をとれるよう、現場と議会が一体となつて後押しをしていくことが大切だ。」と熱く語られました。

各分会からは多くの質問や意見があり、「道徳の評価について悩んでいる。」「三市一町の働き方改革の状況を教えてほしい。」「今後の青年委員会の企画を教えてほしい。」「女性部改革については理解したが、今後も各分会に文書等で丁寧に説明してほしい。」など、学校現場の生の声を聞くことができました。執行部一同、今後の課題としてしっかりと受け止めて、改善に向けてとりくみます。また、11月2日(金)の第297回中央委員会においても活発な議論をお願いします。

三市一町学務課交渉

6月28日、湘南教育会館において、三市一町の学務課長と夏季休業中の服務を中心に交渉及び情報交換を行いました。



夏季休暇、夏季職専免の日数については例年通りの確認がなされ、それ以外にリフレッシュ休暇、子の看護・短期介護休暇、不妊治療のための療養休暇については、県の方が改善される中で、最終的には市町教委が判断をします。その点について確認を行いました。詳細を知りたい組合員は、湘南教組まで問い合わせ下さい。その他にも、自主研修の取り扱い、福利厚生事業のバレーボール大会や教員免許更新講習の職専免について確認しました。

また、教職員の「働き方改革」がすすめられる中、勤務時間管理、学校閉庁日、留守番電話の設置について、今後の見通しや課題の共有を行いました。留守番電話の設置については、既に、鎌倉市の小中学校、寒川町の中学校が導入しています。

今回は事務職員部長も同席し、①事務連携・近隣校支援、②勤務条件・サービス内容変更に伴う速やかな通知、③欠員・代替職員の速やかな配置、④学校閉庁日における事務職員の出勤についての4点に関して、要望を伝えました。

夏の親子映画会「NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘」

平和教育のとりくみの一環として、湘南教育文化研究所主催で開催します。各分会に映画のチラシは配付しています。今回は、茅ヶ崎市民文化会館の改修で、開催できない地域がありますが、別会場を利用して、参加してもらえよう、子どもたちにもお声かけをお願いします。



- ・7月21日(土) 開演 14:00 藤沢市民会館小ホール
- ・7月24日(火) 開演 14:00 鎌倉生涯学習センターホール
- ・7月25日(水) 開演 14:00 湘南台文化センター市民シアター
- ・7月27日(金) 開演 14:00 寒川町民センターホール

福島の子どもたちを湘南へ！

今年度も夏の日差し溢れる湘南で、福島の子ども達と一緒に！

参加募集内容

7月29日(日) 10:00~14:00 鵠沼海岸

地引き網と砂浜遊び **締め切り 7/20(金) FAX 0466-82-1638**

カンパもよろしくお願ひします！※詳細は7/2付けの連絡文書をご覧ください

地引き網を楽しみながら子どもたちと楽しいひと時を！！



※一昨年度の様子

2019年夏

参議院選挙出馬予定 みずおか俊一さん

湘南教組は、第63回定期大会において、参議院選挙比例区では日教組組織内議員候補「みずおか俊一」さんを推薦決定しました。



第68次 湘南教育研究集会

- ①日 時 8月19日(日)
午前の部 9:30 ~ 12:00
午後の部 13:30 ~ 16:00
- ②場 所 鎌倉市立大船中学校
- ③参加体制 分会10割(午前、午後のどちらかに参加)
*1日参加も可

「話そう 悩もう 考えよう
~本音で語る子どもの未来~」



◎教研レポート提出

7月27日(金) 19:00までに、10部印刷して書記局へ持ち込み。

*今回のレポートは、共同研究者・推進委員への提出用。

*教研当日には60部(1日開催分科会は120部)印刷して会場校へ持ち込み。

執行部のつぶやき

人前でしゃべることが増えました

小学校の頃、スポーツ少年団でソフトボールをしていました。練習試合や大会でよく戦っていた学校に「影石小学校」というなんだか忍者みたいで、強そうな名前の学校があって、その1番センターに左腕のない選手がいました。ボールを取った後、器用に脇にグローブを挟み、好返球。俊足を活かし、内野安打連発。いつも負けて悔しい思いをしました。



中学校の頃、県下の生徒全員が参加する弁論大会がありました。中3になって、ぼくはその弁論大会のクラス代表、校内代表に選ばれてしまい、地区大会に参加しました。その地区大会で、県大会への出場を競ったのが、小学校の頃悔しい思いをさせられた左腕のない選手でした。たしか、「ぼくの左手」みたいなスピーチ内容で、「祖父が運転したコンバインに巻き込まれて手を失った」とか「スキーをがんばっている」という内容だったと思います。ぼくは新聞の意見欄をまねた「戦争反対」みたいなことをスピーチしました。

結果は、「ぼくの左手」が県の弁論大会に行くことに。話を聞くと「中3で文章力がつくまで、『ぼくの左手』のスピーチは温存していた」とのこと。当時のぼくは「障害ってなんだかずるい」と思ってしまい、またもや悔しい思いをしました。

2018年、ぼくは執行部の仕事をがんばっています。そして、左腕のない選手は、平昌パラリンピックで、金メダリストになっていました。もはや悔しくもありません。

今思うと、どの時代もその選手はすごい努力をしていたんだろうなあ、と思います。「障害ってなんかずるい」と愚痴っていた自分は、テキストに新聞からスピーチ内容をまねただけなのに・・・。

今は、執行部の仕事、オルグ、各種会議でのあいさつなど、テキストに話すことのないように意識しています。テキストに考えた知識ではなく、自分の経験や組合員の思いを話の内容に落としこめられるよう考えています。そもそも子どもの前でもそうあらねばならないですが・・・。

ずいぶん差はつけられましたが、ぼくも今できる努力、組合活動に邁進していきたいと思います。